

令和7年度 南区民文化センター 文化芸術支援事業
第22回レクイエム インヒロシマ「被爆80年に平和を祈る」

Requiem in HIROSHIMA vol.22
レクイエム インヒロシマ

G.ヴェルディ作曲 「レクイエム」

Giuseppe Verdi

MESSA DA REQUIEM



指揮 齊城英樹

「怒りの日」・・・地の底から湧き上がる怒号よ！世界を目覚めさせよ！
世界3大レクイエムの一つと謳われ、システィーナ礼拝堂の「最後の審判」
を彷彿とさせる大スケールの傑作を歌い世界平和を祈る・・・

2025/ **8/17** 日 13:30 開場
14:00 開演

南区民文化センター ホール

広島市南区比治山本町 16-27



ソプラノ
加島裕美



アルト
宮脇百合江



テノール
三木貴徳



バス
浜田嘉生

広島センチュリー管弦楽団(コンサートマスター 上野眞樹)

合唱 / レクイエム合唱団2025

入場券 全席自由 3,500円
一般 (消費税を含む)

主催 レクイエム インヒロシマ実行委員会 公益財団法人広島市文化財団 南区民文化センター
後援 広島市 広島市教育委員会 中国新聞社 広島テレビ 広島ホームテレビ テレビ新広島
広島エフエム放送 FMちゅーピー 76.6MHz

助成 エネルギア文化・スポーツ財団

〈チケットのお取り扱い〉

エディオン広島本店プレイガイド
南区民文化センター
TEL082-251-4120

【お問い合わせ】 事務局 090-6435-8469(加島)



◆出演者プロフィール

指揮 齊城英樹 (さいじょう ひでき)

オペラ、コンサート指揮者として国内外で活動している。オペラではルーマニア国立ヤシ歌劇場においてモーツァルト「フィガロの結婚」で成功を収め、以来10年間客演指揮者を務め、イタリアオペラを中心に数多くの作品を指揮する。古典から現代まで幅広いジャンルのレパートリーを持ち、オペラ指揮者として国内においても大きな存在感を放っている。声楽を伴う作品の指揮には定評があり、日本人のみならず、ヨーロッパの歌手達からも信頼が厚い。コンサート指揮者としては、オラデア交響楽団、ボトシャニ・フィルハーモニー、モルドヴァ・フィルハーモニー等を指揮し、シオスタコーヴィッチ、プロ

コフィエフではとりわけ高評価を得る。レクイエム イン ヒロシマでは、1987年の発足以来 モーツァルト、フォーレ、ブラームス、ヴェルディ、デュリュフレ、ウエッパー、ラター等、あらゆる時代のレクイエムを指揮し、長年に渡り原爆犠牲者の鎮魂と平和を願い、祈り続けてきた。指揮を山田一雄、山岡重信、イタリア、スイス、ルーマニアに於いてM・アッツモン、M・エルデリ、R・シューマッハ、C・カリストルの各氏に学ぶ。エリザベト音楽大学中退。レスピーギ音楽院及びマスタープレイヤーズ・アカデミーでディプロマ取得。広島オペラアンサンブル音楽監督・指揮者。広島センチュリー管弦楽団音楽監督・指揮者。

ソプラノ 加島裕美 (かしま ひろみ)

エリザベト音楽大学専攻科修了後ヨーロッパに留学。2000年ルーマニア国立ヤシ歌劇場の公演に「道化師」ネッダ役として抜擢され、ヨーロッパの歌劇場の舞台に立つ。その後も同歌劇場「ラ ボエム」「カルメン」「愛の妙薬」「フィガロの結婚」「魔笛」等の公演でプリマを務める。名門モルドヴァ・フィルハーモニーとはモーツァルトの「モテット」を共演。ブカレストのアテネー音楽堂主催でリサイタルを行う。2012年フットサル イタリアセリエA選抜チーム vs 日本の国際親善試合 開会式に於いて「イタリア国歌」を独唱。広島オペラアンサンブルの公演で様々な役に取り組み、またレクイエム イン ヒロシマではソリストとして慰霊と世界平和への祈りを捧げる活動が続けてきた。品川喜久子、内田陽一郎、L.ベルタニョリオ、A.ポーラ、C.カステッラーニ、G.シミオナート、L.セッラ、M.コルテズ、A.ラミレスの各氏に学ぶ。広島オペラアンサンブル理事。

アルト 宮脇百合江 (みやわき ゆりえ)

エリザベト音楽大学宗教音楽学科卒業。グレゴリオ聖歌を 故 水嶋良雄氏に、声楽を小野村和弘、内田陽一郎、日高好一の各氏に師事。1985年ミラノに渡りミラノ音楽院でディプロマを取得。90年までのイタリア留学中、声楽を故L.ガリーニ、M.ファネッリの各氏に、舞台芸術をディ・サンティ氏に学ぶ。帰国後はオペラ「はだしのゲン」栗國安彦追悼公演をはじめ、「アマールと夜の訪問者」「じゅごんの子守唄」などに出演。92年からはオペラフェスティバルの各公演、オペラ「夕鶴」地方公演などにも参加。広島オペラアンサンブル公演では「うかれのひょう六機織唄」「子供と魔法」「藤戸の浦」に出演、「ヤカモチ」「ヘンゼルとグレーテル」「小栗栖の長兵衛」では演出助手を、オペラ「ブッダ・ギータ」では舞台監督を務める。99年オペラゼミにてルーマニア国立歌劇場の指揮者・演出家と共演し好評を受ける。文教女子大学附属高校の講師を経て、現在は高齢者施設にて音楽療法を通じて他者とのかかわりを探求中。

テノール 三木貴徳 (みき たかのり)

広島音楽高校を経てエリザベト音楽大学声楽学科卒業、同大学大学院修士課程修了。1996年から2年間ミラノへ留学。帰国後は自身のリサイタルをはじめ、広島、東京などに数多くのオペラ、コンサートに出演。西日本ピアノ・声楽コンクール第1位など、数多くの賞を受賞。オペラでは「カルメン」のドン・ホセ、「ラ・ボエム」のロドルフォ、「椿姫」のアルフレードを始め、数多くの役を演じている。現在は演奏活動続ける傍ら、三木音楽教室を開設し、ポップス、シャンソン、演歌から、ミュージカル、クラシックまで幅広く指導。国際芸術連盟会員、リビングカルチャーセンター講師、広島少年合唱隊隊長、三木音楽教室主宰。

バス 浜田嘉生 (はまだ よしお)

昭和53年武蔵野音楽大学声楽学科卒業。昭和63年度まで東京に於いて、長門美保歌劇団、東京室内オペラ協会、東京オペラ協会等の公演にバスブッフの役を中心に出演。平成元年に山口に移り、HIOSや北九州シティオペラ、広島シティオペラ、広島オペラアンサンブル、野薔薇座公演で「ジャンニ・スキッキ」のタイトルロール・シモーネ・医師、「ラ ボエム」のコッリーネ・ベノア・アルチンドロ、「愛の妙薬」のドゥルカマール、「ランメルモールのルチア」のライモンド、「アイダ」のエジプト王、「トゥーランドット」のティムール、「タンホイザー」のビーテロルフ、「サウンドオブミュージック」のマックス役等を演じる。平成12年、山口県初のオペラ団体「山口室内オペラ工房」を設立。主催公演「ジャンニ・スキッキ」、「ラ ボエム」、「フィガロの結婚」、「メリー・ウィドウ」、「薬剤師」、「婚約手形」、「ヴェニスの恋人達」、「バステイエンとバステイエンヌ」、「魔笛」、「天国と地獄」、「あまんじゃくとうりこひめ」、「奥様女中」、「コジファントゥッテ」、「愛の妙薬」等の演出・主演を務める。また防府音楽祭では「カルメン」「蝶々夫人」「椿姫」の演出を担当。KRY山口放送局ラジオ番組「日曜日のクラシック」にオペラ解説で出演。山口室内オペラ工房代表。

広島センチュリー管弦楽団

1979年ヴァリウ室内合奏団として発足。その後 新広島フィルハーモニーと改称。その間、定期的な演奏会や学校公演の他、オペラやレクイエムコンサートをはじめとした多様な演奏活動を展開する。1995年に団の体制を一新、更なるレベルアップを図る。それに伴い現在の広島センチュリー管弦楽団となる。原爆犠牲者慰霊コンサートの草分けであるレクイエム イン ヒロシマでは毎回音楽で真剣に祈りを捧げ、またオペラやバレエなどの舞台作品には特に力を入れ、広島オペラアンサンブルの他、中国バレエフェスティバル、森下洋子の松山バレエ、熊川哲也K.カンパニーなどの公演の演奏も手掛ける。特に2002年の「ラ ボエム」の公演では、ヨーロッパから招聘した指揮者から、このオーケストラのクオリティーの高さや音色の美しさを絶賛される。広島を居とするプロオーケストラ(独立採算制)としてこれからも広島を愛し、市民の皆様にも夢や、心に触れる芸術をお届けするべく活動を続けたい。

